

(様式2) 実行計画管理シート

事業名		47	総合スポーツセンター駐車場拡張事業	部・課	観光にぎわい部 スポーツ振興課
総合計画との関係	基本目標等		一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち		
	施策目標等		17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち		
	取り組みの方向		6-③ あらゆる世代の人が、いつでも気軽にスポーツなどの健康づくりに取り組むことができる環境づくりを進めます。		
	(関連施策目標等)		6 誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち		
	(関連施策目標等)				
	4つの重点的に進める施策との関係				
と総合戦略の関係	基本目標		3 市民の健康増進や地域医療の充実を図る		
	施策目標		1 誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち		
市長公約との関係			<所信表明・市政運営方針での表現>		
	所信表明				
	2016(H28)年度市政運営方針	○	総合スポーツセンターにおいて、多目的運動広場用地を第2駐車場として整備するため、用地の買い戻しを行うとともに、近隣に臨時駐車場を確保する。		
	2017(H29)年度市政運営方針				
	2018(H30)年度市政運営方針				

事業概要 (目的・内容等)	総合スポーツセンター駐車場の容量不足の解消を図り、利用者ニーズに応える。(駐車台数275台→348台に拡張) 現在、臨時駐車場として利用している多目的運動広場用地について用地を買戻した上で第2駐車場として整備する。また、関西電力(株)から無償で借り受けた送電線下用地を臨時駐車場として整備する。 概算総事業費:14億円
------------------	---

取り組み状況

これまでの取り組み状況		総合スポーツセンターの駐車場は、スポーツ大会等の開催時に容量不足が深刻化していることから、新たな駐車場を確保する必要があった。近隣地の借用を検討していたところ、関西電力(株)の送電線下用地を無償で借受けできることとなり、貸借契約を締結した。
2016(H28)年度の取り組み	予定・目標	①第2駐車場の実施設計、用地買戻し ②臨時駐車場の実施設計、整備(65台)
	実績(評価)	・第2駐車場の実施設計を行い、事業用地6,866.68㎡のうち、3,441.34㎡の買戻しを行った。 ・臨時駐車場の整備を行った。(65台)
2017(H29)年度の取り組み	予定・目標	①第2駐車場の用地買戻し・整備 ※駐車場有料化に係る設計委託
	実績(評価)	・事業用地6,866.68㎡のうち、平成28年度に取得した3,441.34㎡を差し引いた3425.34㎡を取得。 ・第2駐車場の整備工事を実施。
2018(H30)年度の取り組み	予定・目標	・駐車場有料化に伴う条例改正 ・第1・第2駐車場を有料化し、指定管理業務に含め指定管理者の選定を行う(修正案)
	実績(評価)	・第1・第2駐車場の平成31年度からの有料化に向け、関係条例の改正を行い、指定管理業務に含めて指定管理者を指定した。

2019(R1)年度の取り組み	予定・目標	※指定管理者による有料駐車場の運営
	実績（評価）	指定管理者から駐車場事業者へ再委託し、有料駐車場として運用を行なった。有料になったことから駐車場稼働率が向上し、真に駐車場所が必要な施設利用者への提供が促進された。
備考		

課題・今後の対応	第1・2駐車場を有料、臨時駐車場を大会関係者用駐車場として区別し、今後も引き続き適切な運用を行っていく。		
達成状況（実行計画）	◎:事業完了・目標達成	達成状況（市長公約）	

関連指標

指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
駐車場利用車台数				275	275	340	348	348	363	348	台	
指標の説明				・平成28年度に臨時駐車場の整備完了。平成28年度・29年度の2ヵ年で用地の買戻しを行い、第2駐車場の整備を完了した。令和元年度からは、指定管理者が整備した有料駐車場での運用となり、第1駐車場の利用者台数は140台となった。							当初目標値	達成年度
第1駐車場(125台)第2駐車場(158台)、臨時駐車場(65台)												
指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
駐車場の満車日数				13	11	10	3	4	6	0	日	
指標の説明				整備が完了した平成30年度以降、満車台数は整備前に比べて減少傾向にある。							当初目標値	達成年度
駐車場利用車台数まで来場される日数												
指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明											当初目標値	達成年度
指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明											当初目標値	達成年度

事業費(決算ベース)

単位:千円

年度	事業費総額	国庫支出	府支出金	起債	受益者負担	その他	一般財源
2016(H28)年度	690,671	0	0	507,500	0	0	183,171
2017(H29)年度	727,673	0	0	678,443	0	0	49,230
2018(H30)年度	5	0	0	0	0	0	5
2019(R1)年度	2	0	0	0	0	0	2

整備事業の場合の総事業費	1,419,234 千円	(建設経費	65,600 千円	，用地費	1,353,634 千円)
--------------	--------------	-------	-----------	------	--------------	---

(様式2) 実行計画管理シート

事業名		48	枚方市スポーツ推進事業		部・課	観光にぎわい部 スポーツ振興課
総合計画との関係	基本目標等		一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち			
	施策目標等		17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち			
	取り組みの方向		6-③ あらゆる世代の人が、いつでも気軽にスポーツなどの健康づくりに取り組むことができる環境づくりを進めます。			
	(関連施策目標等)		6 誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち			
	(関連施策目標等)					
	4つの重点的に進める施策との関係					
と総合戦略の関係	基本目標		3 市民の健康増進や地域医療の充実を図る			
	施策目標		1 誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち			
市長公約との関係			＜所信表明・市政運営方針での表現＞			
	所信表明	○	高齢者をはじめ市民が自ら気軽に健康づくりに取り組めるよう、生涯にわたり身近でスポーツに親しめる環境づくりを進める。			
	2016(H28)年度市政運営方針	○	市民のスポーツ活動を充実するため、大阪国際大学との連携により、枚方キャンパスのスポーツ施設を本市のスポーツ振興事業に活用する。高齢者をはじめあらゆる世代を対象に、健康づくりを促進し、スポーツ・レクリエーションの普及・振興を総合的かつ計画的に推進するため、スポーツ推進計画を策定する。			
	2017(H29)年度市政運営方針	○	スポーツを通じて健康を増進し、人と人との交流を深めることができるよう、スポーツ推進計画に基づいた施策を推進する。			
	2018(H30)年度市政運営方針	○	スポーツ推進計画に基づき、あらゆる世代の人が生涯にわたって多種多様なスポーツを楽しみ、スポーツを通じて健康を増進することができる環境づくりを進める。			
事業概要 (目的・内容等)			スポーツ基本法第10条に基づき、本市の実情に即したスポーツの推進に関する計画を策定し、体力づくりや健康増進とあわせて介護予防などに効果的なスポーツ振興に関する事業を総合的・計画的に推進する。			

取り組み状況

これまでの取り組み状況		①スポーツ推進計画策定に向け、スポーツ推進審議会設置のため条例を制定 ②大阪国際大学との連携協定締結に向け、協議	
2016(H28)年度の取り組み	予定・目標	①本市の実情に即したスポーツの推進に関する計画の策定 ②大学スポーツ施設の活用	
	実績（評価）	①平成28年度から新たに設置した枚方市スポーツ推進審議会からの諮問をもとに、本市のスポーツ推進に向けた取り組みの基本的な方向性を示す枚方市スポーツ推進計画を策定した。 ②大阪国際大学と利用調整を行い、5月17日から枚方市教育委員会が施設の使用を認める団体が使用を開始し、40回の利用があった。利用団体は、枚方市立杉中学校ラグビー部・枚方市ゲートボール協会・FCティアモ枚方(連携協定団体)。	
2017(H29)年度の取り組み	予定・目標	→推進	
	実績（評価）	枚方市スポーツ推進計画に基づき、関係部署と連携を図り、主なスポーツ事業の取り組みを共有化し、スポーツ推進審議会において、その取り組みの点検・評価を実施。審議会委員からの助言を受け、各所管部署での取り組み施策とそれに基づく事業の見直しを図った。また、市内の私立校である常翔啓光学園にご協力いただき、同校の施設を活用した市民向けのスポーツ教室も開催いただいた。	
2018(H30)年度の取り組み	予定・目標	→推進	
	実績（評価）	枚方市スポーツ推進計画に基づき、関係部署と連携を図り、主なスポーツ事業の取り組みを共有化し、スポーツ推進審議会において、その取り組みの点検・評価を実施。審議会委員からの助言を受け、各所管部署での取り組み施策とそれに基づく事業の見直しを図った。また、市内の私立校である常翔啓光学園にご協力いただき、4月に同校の施設を活用した市民向けのスポーツ教室も開催いただいた。	

2019(R1)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	枚方市スポーツ推進計画に基づき、関係部署と連携を図り、主なスポーツ事業の取り組みを共有化し、スポーツ推進審議会において、その取り組みの点検・評価を実施。審議会委員からの助言を受け、各所管部署での取り組み施策とそれに基づく事業の見直しを図った。また、市内の私立校である常翔啓光学園にご協力いただき、4・9月に同校の施設を活用した市民向けのスポーツ教室も開催いただいた（参加者30人）。
備考		

課題・今後の対応	スポーツ推進計画に基づき、審議会委員の意見や点検評価を踏まえて各事業の見直しを図りながら、目標達成に向けてスポーツ施策の取組を行っていく。また、市民スポーツ活動の場を確保するなど、スポーツを気軽に親しめる環境づくりを進める。		
達成状況（実行計画）	○：達成に向けて進行・継続中	達成状況（市長公約）	○：達成に向けて進行・継続中

関連指標

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
市民スポーツ実施率			31.5	31.5	37.6	37.6	37.6	37.6	50	%	
指標の説明			今後も目標値の達成に向けて、市民がスポーツに触れる機会を増やすため、施策の充実を図っていく。							当初目標値	達成年度
成人の週1回以上の運動・スポーツ実施率											
指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
スポーツ活動者数			1,132,694	1,149,524	1,168,701	1,128,433	1,150,649	1,102,369	1,200,000	人	
指標の説明			令和元年度は施設駐車場の有料化や新型コロナウイルス感染症拡大防止のためのイベント中止、施設利用中止などにより減少した。							当初目標値	達成年度
「スポーツイベント参加者数」と「市立スポーツ施設の年間利用者数」の合計											
指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明										当初目標値	達成年度
指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明										当初目標値	達成年度

事業費(決算ベース)

単位:千円

年度	事業費総額	国庫支出	府支出金	起債	受益者負担	その他	一般財源
2016(H28)年度	6,032	0	0	0	0	0	6,032
2017(H29)年度	455	0	0	0	0	0	455
2018(H30)年度	366	0	0	0	0	0	366
2019(R1)年度	338	0	0	0	0	0	338

整備事業の場合の総事業費	0 千円	(建設経費	0 千円	，用地費	0 千円)
--------------	------	-------	------	------	--------

(様式2) 実行計画管理シート

事業名		129	野外活動センター活性化事業		部・課	観光にぎわい部 スポーツ振興課
総合計画との関係	基本目標等		一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち			
	施策目標等		17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち			
	取り組みの方向		16-③ 学校・家庭・地域が連携しながら、子どもの社会性や思いやりの心など、豊かな人間性を育むとともに、健やかな身体を育成する取り組みを進めます。			
	(関連施策目標等)		16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			
	(関連施策目標等)		19 地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち			
	4つの重点的に進める施策との関係					
と総合戦略の関係	基本目標		2 安心して子どもを産み育てることができ、子どもの健やかな成長と学びを支える			
	施策目標		3 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			
市長公約との関係			＜所信表明・市政運営方針での表現＞			
	所信表明		○	野外での体験学習の拡充を進める。		
	2016(H28)年度市政運営方針		○	子どもたちの健康な体を育むため、野外活動センターを活用した自然体験教室を全小学校で実施するとともに、施設へのアクセス道路を舗装する。		
	2017(H29)年度市政運営方針		○	自然の中で青少年の健全な育成を図るため、野外活動センターへの進入路の舗装工事を平成30年度までに実施し、施設の利用を促進する。		
	2018(H30)年度市政運営方針					
事業概要 (目的・内容等)			野外活動を通じて子どもたちの生きる力を育むため、学校利用の促進を図るとともに、自然学習や活動プログラムの拡充を図る。また、野外活動センターを効率的かつ効果的に運営するため、センター内の各施設の利用実績等を分析し、利用者ニーズに即した施設の最適化を進める。			

取り組み状況

これまでの取り組み状況		・進入路整備に関する基本設計委託を実施 ・市内小学校を訪問して学校ニーズを把握し、平成27年度から「学校キャンプ支援事業」を本格実施	
2016(H28)年度の取り組み	予定・目標	・進入路簡易舗装の実施設計 ・学校キャンプ支援事業等の実施	
	実績（評価）	・進入路整備に関する実施設計を行った。 ・市内小中学校を訪問して学校ニーズを把握し、31校に「学校キャンプ支援事業」を実施した。	
2017(H29)年度の取り組み	予定・目標	・進入路簡易舗装工事(2ヵ年で実施) ・学校キャンプ支援事業等の実施(スポーツ推進計画に基づくサービスの提供)	
	実績（評価）	・進入路の舗装工事の実施 ・市内小中学校を訪問して学校ニーズを把握し、28校に「学校キャンプ支援事業」を実施した。	
2018(H30)年度の取り組み	予定・目標	・学校キャンプ支援事業等の実施(スポーツ推進計画に基づくサービスの提供) ・進入路の舗装工事(2ヵ年で実施)	
	実績（評価）	・進入路の舗装工事を完了した。 ・市内小中学校のニーズを把握し、26校に「学校キャンプ支援事業」を実施した。	

2019(R1)年度の取り組み	予定・目標	・学校キャンプ支援事業等の実施(スポーツ推進計画に基づくサービスの提供)
	実績(評価)	・市内小中学校のニーズを把握し、20校に「学校キャンプ支援事業」を実施した。
備考		

課題・今後の対応	より多くの学校に利用してもらえるよう、野外活動センターの活動プログラムについて充実を図るとともに、バス代の負担額の精査やバスの運用方法について見直しを行う。今後は野外活動センターを含む東部地域全体の活性化について、プロジェクトチームとの連携を図っていく。		
達成状況(実行計画)	○:達成に向けて進行・継続中	達成状況(市長公約)	○:達成に向けて進行・継続中

関連指標

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
学校園関係の利用者数			3,001	3,997	4,192	3,202	2,970	2,282	5,500	人	
指標の説明			平成29年度以降、最寄りバス停の便数減少によりアクセス方法が限られ、近年増加傾向にあった高校、大学等の利用者数が減少傾向にある。							当初目標値	達成年度
学校キャンプ支援事業を含む学校キャンプの利用者数											
指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
日帰り及び宿泊利用者数			13,788	16,220	17,478	14,956	14,026	11,409	17,000	人	
指標の説明			令和元年度は、災害による施設の閉鎖・キャンセルや新型コロナウイルス感染症拡大防止のためによる閉鎖等により、利用者数が大幅に減少した。							当初目標値	達成年度
野外活動センターの日帰り及び宿泊利用者数											
指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明										当初目標値	達成年度
指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明										当初目標値	達成年度

事業費(決算ベース)

年度	事業費総額	国庫支出	府支出金	起債	受益者負担	その他	一般財源
2016(H28)年度	7,668	0	0	0	0	0	7,668
2017(H29)年度	30,494	0	0	0	0	26,316	4,178
2018(H30)年度	29,589	0	0	0	0	25,442	4,147
2019(R1)年度	3,401	0	0	0	0	0	3,401

整備事業の場合の総事業費	55,000 千円	(建設経費	55,000 千円	, 用地費	0 千円)
--------------	-----------	-------	-----------	-------	--------

(様式2) 実行計画管理シート

事業名		144	生涯学習支援事業	部・課	観光にぎわい部 文化生涯学習課
総合計画との関係	基本目標等		一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち		
	施策目標等		17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち		
	取り組みの方向		17-① あらゆる世代の人が身近なところで学ぶことができる機会の創出を図り、その成果を地域で生かし、市民同士等がつながりを育める環境づくりを進めます。		
	(関連施策目標等)				
	(関連施策目標等)				
	4つの重点的に進める施策との関係				
と総合戦略の関係	基本目標				
	施策目標				
市長公約との関係			＜所信表明・市政運営方針での表現＞		
	所信表明				
	2016(H28)年度市政運営方針				
	2017(H29)年度市政運営方針				
	2018(H30)年度市政運営方針				

事業概要 (目的・内容等)	市民の生涯学習を支援し、同世代のつながりや世代間交流の促進につなげるため、生涯学習市民センターなどにおいて、生涯学習活動に係る情報の収集や提供、交流促進等に取り組む。
------------------	---

取り組み状況

これまでの取り組み状況		・他部局等と連携し、生涯学習市民センターなどの身近な場所での文化の鑑賞や地域の特色・社会的な課題に係る生涯学習事業を実施するなど、市民等の学習機会を増やすべく取り組んだ。
2016(H28)年度の取り組み	予定・目標	・市民の生涯学習活動を支援し、学びをまちづくりに生かす取り組みを推進する。
	実績（評価）	平成27年3月策定枚方市生涯学習推進基本方針に掲げた各施策の推進に関し、利用者に対するアンケートを実施するなど利用者満足度を把握するとともに、各所管部署等で実施する施策評価・事務事業実績測定に基づく平成27年度における実績等について「生涯学習推進基本指針進捗状況」としてとりまとめ、生涯学習推進審議会において確認を行った。
2017(H29)年度の取り組み	予定・目標	生涯学習市民センターは、学ぶもの同士や地域世代間交流のつながりを支え、様々な活動を行う方が集う場であり、生涯学習による市民との共同のまちづくりの拠点として活性化に努める。
	実績（評価）	生涯学習市民センターにおける学習支援と市民の生涯学習活動の推進に向け、各種取り組みを行った。 ・生涯学習活動にかかる情報の収集及び提供 ・生涯学習活動にかかる人材の育成、交流の促進、その他生涯学習活動の支援 ・生涯学習活動や行政との連携によるまちづくり活動などに対してセンターの施設を提供 ・各種イベントのちらし配布などで生涯学習情報を提供する他、市民の生涯学習活動に施設を貸出
2018(H30)年度の取り組み	予定・目標	生涯学習市民センターは、学ぶもの同士や地域世代間交流のつながりを支え、様々な活動を行う方が集う場であり、生涯学習による市民との共同のまちづくりの拠点として活性化に努める。
	実績（評価）	・引き続き、生涯学習市民センターにおける学習支援と市民の生涯学習活動の推進に向け、各種取り組みを行った。 ・生涯学習市民センターと図書館の複合6施設（蹊跼、牧野、楠葉、菅原、御殿山、津田）の指定管理者による自主企画で民間のノウハウを生かした事業を展開できた。また、施設備品等の充実を図り、生涯学習活動の支援体制を強化した。

2019(R1)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	・引き続き、生涯学習活動にかかる情報の収集及び提供など、生涯学習市民センターにおける学習支援と市民の生涯学習活動の推進に向け、各種取り組みを行った。 ・指定管理者制度を導入している複合6施設において、指定管理者による多様な事業を展開し、市民の学習機会の増加につながった。
備考		

課題・今後の対応	市民の学びや地域社会への貢献意欲が高まる中、幅広い層の学びやその成果を活用する機会が求められており、今後も引き続き生涯学習推進基本指針に掲げた各施策について積極的に取り組んでいく。 平成30年度に導入した6センターの指定管理者における業務の執行状況を把握するとともに、図書館との複合施設であることを活かした施設連携事業を推進するように求める。		
達成状況（実行計画）	○:達成に向けて進行・継続中	達成状況（市長公約）	

関連指標

指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
生涯学習市民センター利用件数		○		59,150	60,889	60,505	61,120	63,304	57,287	62,300	件	
指標の説明				目標値の達成に向けて更に利用件数の増加に努めた。 (令和元年度は新型コロナウイルス感染症の影響で施設利用を中止した。それに伴い利用件数が減少)							当初目標値	達成年度
生涯学習市民センター(9施設)の利用件数												

指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明											当初目標値	達成年度

指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明											当初目標値	達成年度

指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明											当初目標値	達成年度

事業費(決算ベース)

単位:千円

年度	事業費総額	国庫支出	府支出金	起債	受益者負担	その他	一般財源
2016(H28)年度	17,304	0	0	0	3,784	0	13,520
2017(H29)年度	15,779	0	0	0	3,357	0	12,422
2018(H30)年度	16,376	0	0	0	2,985	0	13,391
2019(R1)年度	15,261	0	0	0	2,621	0	12,640

整備事業の場合の総事業費 0 千円 （建設経費 0 千円 ， 用地費 0 千円 ）

(様式2) 実行計画管理シート

事業名		145	香里ヶ丘図書館建替え事業		部・課	市駅周辺等 まち活性化部 総合教育部	市駅周辺等まち活 性化部 中央図書館
総合計画との関係	基本目標等		一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち				
	施策目標等		17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち				
	取り組みの方向		17-② 市民が利用しやすい魅力ある図書館運営と知の源泉となる図書館機能の充実を図り、豊かな心を育む市民の生涯学習を支援します。				
	(関連施策目標等)						
	(関連施策目標等)						
	4つの重点的に進める施策との関係						
と総合戦略の関係	基本目標		1 産業の活性化と人々の交流・賑わいの創出によりまちの魅力を高める				
	施策目標		6 地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち				
市長公約との関係			＜所信表明・市政運営方針での表現＞				
	所信表明						
	2016(H28)年度 市政運営方針	○	老朽化やバリアフリー対応等の課題を抱える香里ヶ丘図書館については、周辺地域の発展につながるよう、再整備に向けた検討を進めます。				
	2017(H29)年度 市政運営方針	○	図書館の建て替えにあたっては、民間ノウハウをより効果的に生かせるよう、プロポーザル方式により設計事業者を選定するとともに、サービスの向上と効率的・効果的な図書館運営を実現するため指定管理者制度の導入をめざす。				
	2018(H30)年度 市政運営方針	○	香里ヶ丘地域においては、新たな魅力を創出し、まち全体のさらなる活力へ広げていくため、令和2年夏のオープンに向け香里ヶ丘図書館と香里ヶ丘中央公園の整備を一体的に進める。さらに整備完了後は、民間の自由な発想を生かし、あらゆる世代が楽しめる空間となるように、一体運営も含めた管理手法について検討を進める。				
事業概要 (目的・内容等)			老朽化が進行している香里ヶ丘図書館を建替える(延べ床面積約1,200㎡、2階建てRC構造)。バリアフリー化や閲覧スペースの増床を行い、集会室機能を備えることで市民サービスの向上を図る。				

取り組み状況

これまでの取り組み状況		・ 国の「都市再生整備計画事業」の承認を受け、国費財源を確保した。 ・ 関係課課長会議を開き、建替えのスケジュール等について協議を行った。	
2016(H28)年度の取り組み	予定・目標	平成29年度の設計開始に向け、館の基本コンセプトや施設概要の検討、必要な什器類等を明らかにする整備基本構想の策定に向けた庁内協議を行うとともに、議会、市民等への説明、意見聴取を進める。 平成29年度予算に向け、国への交付金申請を行う。設計費用総額約5,000万円のうち交付金約2,500万円を予定している。	
	実績（評価）	香里ヶ丘図書館建替えに向けて、館の基本コンセプトを定めるために、市民アンケートや12月に地元説明会を行い、3月に「香里ヶ丘図書館建替え基本計画」を策定した。 また、新図書館の基本設計・実施設計ついて、公募型プロポーザル方式で事業者を選定するため、香里ヶ丘図書館設計事業者選定審査会を設置する手続きを行った。	
2017(H29)年度の取り組み	予定・目標	新香里ヶ丘図書館建設に向けた基本設計及び実施設計を行う。 平成30年度予算に向け、既設建物解体費用4,640万円及び平成30年度執行予定の建替え工事費2億1,000万円の合計2億5,640万円のうち、1億2,820万円について国への交付金申請を行う。	
	実績（評価）	公募型プロポーザル方式で設計事業者を募集し、香里ヶ丘図書館設計事業者選定審査会の答申を受けて設計事業者を選定した。 新香里ヶ丘図書館建設に向けた基本設計を作成した。 香里ヶ丘図書館を平成30年2月28日で休館した。平成30年3月から自動車文庫による代替サービスを開始し、平成30年4月からサービスを開始する南部生涯学習市民センター内の香里ヶ丘図書館代替サービススポットの整備を行った。	
2018(H30)年度の取り組み	予定・目標	現香里ヶ丘図書館棟及び集会室棟を解体後、隣接の公園法面の工事を行った後、図書館の建設に着手する。図書館休館中は、自動車文庫による代替サービスを行う。 平成31年度予算に向け、建替え工事費31年度執行予定分3億4,440万円及び外構工事費1,000万円の内、1億7,638万円を国へ交付金申請を行う。また、これとは別に備品等購入・設置費用として5,620万円の予算要求を行う。	
	実績（評価）	新香里ヶ丘図書館の基本設計・実施設計を夏までに完成。また、4月開始の香里ヶ丘図書館棟及び集会室棟を7月に解体完了した。隣接の公園法面工事完成後、香里ヶ丘図書館建築工事の契約手続に入った。 4月、南部生涯学習市民センター1階に香里ヶ丘図書館代替サービススポットを開設。香里ヶ丘中央公園で2週間に1回、自動車文庫による代替サービスを行った。	

2019(R1)年度の取り組み	予定・目標	引き続き新香里ヶ丘図書館建設工事を実施し、平成31年度内に完成させる。建物完成後、書架・什器類の搬入・設置、図書等の配架を行い、平成32年度早期の開館を目指す。 オープンするまで、引き続き自動車文庫による代替サービスを継続する。
	実績（評価）	南部生涯学習市民センター1階の代替サービススポット、及び香里ヶ丘中央公園で2週間に1度の自動車文庫による代替サービスを引き続き行ったが、令和2年3月からは、新型コロナウイルス対策のため、予約本の受け渡しのみに絞ったサービスを行った。令和2年3月26日に建物の引き渡しを受け、書架及びカウンターの購入の契約を締結し、その他備品の設置の事務を進めた。
備考		

課題・今後の対応	令和2年7月22日の開館に向け、備品の設置等、新型コロナウイルスへの対応を考慮したうえで、開館セレモニーの準備を進めていく。		
達成状況（実行計画）	○:達成に向けて進行・継続中	達成状況（市長公約）	○:達成に向けて進行・継続中

関連指標

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位
閲覧室面積			約280	約280	約280	約280	約280	約38	約540	m ²
指標の説明								当初目標値	達成年度	
新旧香里ヶ丘図書館の閲覧室面積を比較										

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位
来館者数			174,481	173,720	160,445	125,149	49,296	54,749	196,166(R2)	人
指標の説明								当初目標値	達成年度	
新旧香里ヶ丘図書館の来館者数を比較										

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位
指標の説明								当初目標値	達成年度	

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位
指標の説明								当初目標値	達成年度	

事業費(決算ベース)

単位:千円

年度	事業費総額	国庫支出	府支出金	起債	受益者負担	その他	一般財源
2016(H28)年度	870	0	0	0	0	0	870
2017(H29)年度	16,248	5,700	0	0	0	0	10,548
2018(H30)年度	316,141	137,700	0	141,500	0	0	36,941
2019(R1)年度	389,043	183,856	0	178,500	0	0	26,687

整備事業の場合の総事業費	881,274 千円	(建設経費	881,274 千円	，用地費	0 千円)
--------------	------------	-------	------------	------	--------

(様式2) 実行計画管理シート

事業名		146	図書館機能充実事業		部・課	総合教育部 中央図書館
総合計画との関係	基本目標等		一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち			
	施策目標等		17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち			
	取り組みの方向		17-② 市民が利用しやすい魅力ある図書館運営と知の源泉となる図書館機能の充実を図り、豊かな心を育む市民の生涯学習を支援します。			
	(関連施策目標等)					
	(関連施策目標等)					
	4つの重点的に進める施策との関係					
との総合戦略関係	基本目標					
	施策目標					
市長公約との関係			＜所信表明・市政運営方針での表現＞			
	所信表明					
	2016(H28)年度市政運営方針					
	2017(H29)年度市政運営方針	○	読書好きの子どもを育み、児童・生徒の学力向上につながるよう、小中学校において学校図書館と市立図書館とのコンピューターネットワークを利用した蔵書の有効活用を進める。			
	2018(H30)年度市政運営方針					
事業概要 (目的・内容等)			市民が利用しやすい図書館運営を図るため、図書館コンピュータシステムを更新し、中央図書館・分館・分室をオンライン化することで、効率的な蔵書管理や、検索サービス・予約サービス等を充実する。また、システム内に小中学校の学校図書館の蔵書データを登録することで、学校間や市立図書館との蔵書の有効活用を図る。			

取り組み状況

これまでの取り組み状況		平成28年度に新コンピュータシステムの構築・運用、学校図書館蔵書のデータベース化・オンライン化に向けての、調査・研究・課題整理を行った。 図書館コンピュータシステムを更新した。また学校図書館蔵書のデータベース化、オンライン化を行った。			
2016(H28)年度の取り組み	予定・目標	・新図書館コンピュータシステムの構築完了、運用開始 ・小中学校図書館の蔵書データベースの構築			
	実績（評価）	・図書館システムを更新し、スマートフォン表示での蔵書の予約が可能になるなど、サービスの向上を行った。 ・学校図書館蔵書のデータベース化・オンライン化を進め、64小中学校の蔵書約50万7千冊の蔵書データの登録を完了した。			
2017(H29)年度の取り組み	予定・目標	→推進			
	実績（評価）	・図書館システムを引き続き運用した。 ・平成29年4月、64小中学校で稼動した学校図書館システムの管理及び技術的支援を行なった。 ・学校図書館システムを活用して資料検索が容易になるよう、分類配架を変更するなど環境整備等を行なった。			
2018(H30)年度の取り組み	予定・目標	→推進			
	実績（評価）	・図書館システムを引き続き運用した。また、令和3年度に行う図書館システムリブレイスに向けて、検討を進めた。 ・7分館・3分室の端末及びプリンタの更新、中央図書館選書担当の端末の増設を行った。 ・令和元年度に行う学校図書館児童生徒用端末の導入に向けて、手続きを進めた。 ・学校図書館システムの活用を進めるため、引き続き学校図書館の環境整備を実施した。また、システム運用の手引きを改訂し、教職員への技術的支援を行った。			

2019(R1)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	・図書館システムを引き続き運用した。また、令和3年度に行う図書館システムリプレイスに向けて、検討を進めた。 ・7分室の端末及びプリンタの更新を行った。 ・学校図書館児童生徒用端末を更新し、教師用端末の令和2年度の更新に向け、手続きを進めた。 ・学校図書館システムの活用を進めるため、引き続き学校図書館の環境整備を実施した。
備考		

課題・今後の対応	・図書館システムの改善と、老朽化への対応。 ・図書館システムを支える安定的な物流の確保。 ・学校図書館の児童・生徒用端末の安定的な整備。	
達成状況（実行計画）	○:達成に向けて進行・継続中	達成状況（市長公約）○:達成に向けて進行・継続中

関連指標

指標名	施策指標	指標の実績 （評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
図書館来館者数	○		1,737,192	1,805,647	1,790,909	1,736,771	2,004,767	1,729,242	1,867,779	人	
指標の説明			中央図書館では各種イベントを開催した。平成30年度より指定管理者による運営を6分館に導入し、開館日数及び開館時間を拡大したが、令和元年度後半に新型コロナウイルス感染症が発生し、サービスを縮小したため、来館者数が落ち込んだ。							当初目標値	達成年度
図書館（中央図書館・7分館）の年間来館者数											

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
図書館貸出冊数(個人・団体)	○		3,730,763	3,716,643	3,504,263	3,527,835	3,483,340	3,414,891	3,960,126	冊	
指標の説明			中央図書館では各種イベントを開催した。平成30年度より指定管理者による運営を6分館に導入し、開館日数及び開館時間が拡大した。また香里ヶ丘図書館休館中の代替サービスとして自動車文庫の巡回とともに南部生涯学習市民センターに「香里ヶ丘図書館代替サービススポット」を設置し、予約図書の受け渡し等のサービスを実施した。その影響もあり、貸出冊数が減少した。							当初目標値	達成年度
図書館(中央図書館・7分館・11分室・自動車文庫)の年間個人・団体貸出冊数											

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明										当初目標値	達成年度

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明										当初目標値	達成年度

事業費（決算ベース）

年度	事業費総額	国庫支出	府支出金	起債	受益者負担	その他	一般財源
2016(H28)年度	62,360	0	0	0	0	0	62,360
2017(H29)年度	42,213	0	0	0	0	0	42,213
2018(H30)年度	45,484	0	0	0	0	0	45,484
2019(R1)年度	45,824	0	0	0	0	0	45,824

単位:千円

整備事業の場合の総事業費	0千円	（建設経費	0千円	，用地費	0千円	）
--------------	-----	-------	-----	------	-----	---

(様式2) 実行計画管理シート

事業名		147	子どもに本を届ける事業		部・課	総合教育部 中央図書館
総合計画との関係	基本目標等		一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち			
	施策目標等		17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち			
	取り組みの方向		17-② 市民が利用しやすい魅力ある図書館運営と知の源泉となる図書館機能の充実を図り、豊かな心を育む市民の生涯学習を支援します。			
	(関連施策目標等)					
	(関連施策目標等)					
	4つの重点的に進める施策との関係					
との総合戦略関係	基本目標					
	施策目標					
市長公約との関係			＜所信表明・市政運営方針での表現＞			
	所信表明	○	学校図書館の充実			
	2016(H28)年度市政運営方針	○	市民に不要となった本の寄贈を呼びかけ、蔵書として再利用するとともに、新たに基金を創設し、不要図書の売却収入や寄附金を用いて、未来を担う子どもたちの読書環境を充実させるための仕組みを構築する。			
	2017(H29)年度市政運営方針					
	2018(H30)年度市政運営方針					
事業概要 (目的・内容等)			市民が不要となった本を図書館に寄贈することで、蔵書として再利用したり、不要図書を売却し、その売却収入や寄附金を用いて子どもの夢を育むために、新たな子ども向け図書を購入するなど、子どもの読書環境の充実を図るシステムを構築する事業である。子どもの読書に関心を持つ市民やPTAなどの団体が、家計に大きな負担をかけることなく、身近な形で郷土の子どもの読書、ひいては教育に貢献することが可能となる。			

取り組み状況

これまでの取り組み状況		・基金条例の一部改正「子どもに本を届ける基金」を追加。平成28年4月から施行。 ・市民への周知(広報ひらかた4月号、ホームページ、報道への記事提供など) ・さらに及び中央図書館設置の清涼飲料水自動販売機の売り上げの3%を基金に積み立てる契約を締結。 ・古書及び古紙業者の調査と契約手続き。 ・組織内での対応と流れ等の検討。			
2016(H28)年度の取り組み	予定・目標	・実施初年度。 ・市民周知を継続して行い、基金への積み立て金額を確保する(図書売却1,500千円、指定寄附金1,000千円)。 ・子ども夢基金からの繰り入れも検討。			
	実績(評価)	7月から寄附金の受付を開始した。 積立額 6,139,437円 うち指定寄附金 5,582,865円(自動販売機からの寄附金(商品代金の一部(3%))212,865円含む) うち古紙・古書売却益 556,572円			
2017(H29)年度の取り組み	予定・目標	・市民周知を継続して行い、基金への積み立て金額を確保する(図書売却1,500千円、指定寄附金1,000千円)。 ・子ども夢基金からの繰り入れも検討。 ・前年度に基金へ積み立てた一部を取り崩し、図書を購入する。 ・その図書を活用して、子どもたちに届けていく。			
	実績(評価)	平成29年度実績 積立金額 8,095,130円 うち指定寄附金分 7,557,690円(自動販売機からの寄附金(商品代金の一部(3%))225,690円含む) うち古紙売却益分 537,440円 28年度積立金のうち3,500,000円を子どもに本を届ける事業とし充当、市内各小学校に本を届けた。			
2018(H30)年度の取り組み	予定・目標	・事業の効果を検証しながら引き続き事業実施。			
	実績(評価)	平成30年度実績 積立金額 3,951,653円 うち指定寄附金分 3,422,088円(自動販売機からの寄附金(商品代金の一部(3%))202,088円含む) うち古紙売却益分 529,565円 29年度積立金のうち5,000,000円を子どもに本を届ける事業とし充当、市内各小学校に本を届けた。			

2019(R1)年度の取り組み	予定・目標	・事業の効果を検証しながら引き続き事業実施。
	実績（評価）	令和元年度実績 積立金額 3,431,469円 うち指定寄附金分 3,331,066円（自動販売機からの寄附金（商品代金の一部〈3%〉180,066円含む） うち古紙売却益分 100,403円 30年度積立金のうち6,090,942円を子どもに本を届ける事業とし充当、市内各小学校に本を届けた。
備考		

課題・今後の対応	・寄贈冊数の減少が見られるため、事業についてさらに積極的にPRをする。 ・経費をかけずに、効果的に積立金を増加させる。 ・学校など現場が求めている本の把握と、適切な配本。 ・物流の充実。		
達成状況（実行計画）	○:達成に向けて進行・継続中	達成状況（市長公約）	○:達成に向けて進行・継続中

関連指標

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
市立図書館への寄贈冊数			-	-	78,993	56,324	39,738	40,193	150,000	冊	
指標の説明			事業についてさらに積極的にPRし、寄贈図書を募っていく。							当初目標値	達成年度
市民や市民団体等から市立図書館へ寄贈された冊数											
指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
市立図書館への寄附金額			-	-	6,139,437	7,557,690	3,422,088	3,331,066	2,000,000	円	
指標の説明			事業についてさらに積極的にPRしていく。							当初目標値	達成年度
市民や市民団体等から市立図書館へ寄附された金額											
指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明										当初目標値	達成年度
指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明										当初目標値	達成年度

事業費(決算ベース)

単位:千円

年度	事業費総額	国庫支出	府支出金	起債	受益者負担	その他	一般財源
2016(H28)年度	7,140	0	0	0	0	7,140	0
2017(H29)年度	8,096	0	0	0	0	8,096	0
2018(H30)年度	3,952	0	0	0	0	3,952	0
2019(R1)年度	6,151	0	0	0	0	6,091	60

整備事業の場合の総事業費	0千円	(建設経費	0千円	, 用地費	0千円)
--------------	-----	-------	-----	-------	------

(様式2) 実行計画管理シート

事業名		148	生涯学習施設及び図書館管理運営効率化事業		部・課	観光にぎわい部 総合教育部	文化生涯学習課 中央図書館
総合計画との関係	基本目標等		一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち				
	施策目標等		17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち				
	取り組みの方向		17-② 市民が利用しやすい魅力ある図書館運営と知の源泉となる図書館機能の充実を図り、豊かな心を育む市民の生涯学習を支援します。				
	(関連施策目標等)						
	(関連施策目標等)						
	4つの重点的に進める施策との関係						
総合戦略との関係	基本目標						
	施策目標						
市長公約との関係			＜所信表明・市政運営方針での表現＞				
	所信表明						
	2016(H28)年度市政運営方針	○	蹉跎・牧野の2つの生涯学習市民センターと図書館の複合施設に指定管理者制度を導入し、平成30年度の残る4施設への導入につなげる。				
	2017(H29)年度市政運営方針	○	楠葉、菅原、御殿山、津田の4箇所生涯学習市民センターと図書館の複合施設についても、平成30年度からの導入に向け取り組みを進めます。				
	2018(H30)年度市政運営方針						

事業概要 (目的・内容等)	平成28年度に指定管理者制度を先行導入した蹉跎生涯学習市民センター・蹉跎図書館並びに牧野生涯学習市民センター・牧野図書館における運用状況等をふまえ、生涯学習市民センター・図書館複合施設の管理運営について、民間ノウハウを活用しながら市民サービス向上と効率的・効果的な管理運営を図るため指定管理者制度を導入する。
------------------	--

取り組み状況

これまでの取り組み状況		・平成26年度に生涯学習市民センターと図書館の複合全6施設の管理運営について、民間のノウハウを活かしながら、市民サービス向上と経費削減を目的に指定管理者制度を導入することとし、平成28年度から牧野・蹉跎施設の2施設へ先行導入した。 ・先行導入施設への導入状況の検証結果を基に、平成30年度から複合全6施設へ指定管理者制度を導入した。
2016(H28)年度の取り組み	予定・目標	①生涯学習市民センターと図書館の複合2施設(蹉跎、牧野)の指定管理者による運営開始(H28年度～H29年度) ②蹉跎、牧野を含む生涯学習市民センターと図書館の複合全6施設への指定管理者制度導入に向けた準備
	実績(評価)	①生涯学習市民センターと図書館の複合2施設(蹉跎、牧野)の指定管理者による運営を開始した。指定管理導入以前に比べ生涯学習市民センター及び図書館の利用率が向上するとともに、図書館部分の年間総開館時間数を従来の約1.5倍に拡大した。 ②先行導入の蹉跎、牧野において、課題等を早期に把握するため、指定管理者によるセルフモニタリングのほか、市独自にアンケートを実施するなど課題等の把握・検証に取り組んだ。
2017(H29)年度の取り組み	予定・目標	①生涯学習市民センターと図書館の複合2施設(蹉跎、牧野)の指定管理者による運営 ②H30年度以降の生涯学習市民センターと図書館の複合6施設への指定管理者の選定
	実績(評価)	①28年度に引き続き、指定管理者による複合2施設(蹉跎、牧野)の運営を行った。また、モニタリング等を実施することで、課題等の把握・検証を行い、平成30年度からの指定管理者制度導入に向けた事務に反映させた。 ②平成30年度からの、指定管理者制度導入に向けた事務を進めた。
2018(H30)年度の取り組み	予定・目標	・生涯学習市民センターと図書館の複合全6施設(蹉跎、牧野、楠葉、菅原、御殿山、津田)の指定管理者による運営開始
	実績(評価)	平成30年4月、牧野・蹉跎、楠葉・津田、菅原・御殿山のセンター・図書館複合6施設に指定管理者制度を導入した。また同6施設の図書館においては、開館日数・開館時間帯の拡充を行い、開館時間数を平成29年度の約1.5倍とした。 さらに、モニタリング等を実施し、市要求事項等の遂行状況の確認を行い、また、事業の進捗状況、課題等の把握・検証を行った。

2019(R1)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	30年度に引き続き、指定管理者による複合6施設についてモニタリング等を実施することで本市要求事項等の遂行状況の確認を行うとともに、適正な施設運営がなされているか確認を行った。 図書館においては、複合施設の特性を生かした児童・成人向けの各種事業を積極的に実施した。
備考		

課題・今後の対応	市によるモニタリングの他に指定管理者のセルフモニタリングの結果を活用し、民間ならではの多角的な視点から運営の質を高める。 図書館においては、指定管理導入による開館時間の拡大等、市民への周知がまだ不十分であるため、広報活動等を積極的に行う。		
達成状況（実行計画）	○:達成に向けて進行・継続中	達成状況（市長公約）	○:達成に向けて進行・継続中

関連指標

指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
生涯学習市民センター利用件数		○		59,150	60,889	60,505	61,120	63,304	57,287	62,300	件	
指標の説明				令和元年度は新型コロナウイルス感染症の影響で施設利用を中止した。それに伴い利用件数が減少。 ・平成30年度・・・46,508件(蹉跎・牧野・楠葉・津田・菅原・御殿山) ・令和元年度・・・41,122件(蹉跎・牧野・楠葉・津田・菅原・御殿山)							当初目標値	達成年度
生涯学習市民センターの利用件数												
指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
図書館利用者数				1,139,604	1,173,446	1,155,005	1,289,992	1,349,188	1,410,418	1,207,000	人	
指標の説明				指定管理館の延べ年間貸出者数 ・平成29年度…209,046人(蹉跎・牧野) ・平成30年度…751,179人(蹉跎・牧野・楠葉・津田・菅原・御殿山) ・令和元年度…793,289人(蹉跎・牧野・楠葉・津田・菅原・御殿山) 指定管理者による効率的・効果的な運営を行った。							当初目標値	達成年度
図書館(中央図書館・7分館・11分室・自動車文庫)の延べ年間貸出者数												
指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明											当初目標値	達成年度
指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明											当初目標値	達成年度

事業費(決算ベース)

単位:千円

年度	事業費総額	国庫支出	府支出金	起債	受益者負担	その他	一般財源
2016(H28)年度	200,888	0	0	0	11,833	1,551	187,504
2017(H29)年度	203,471	0	0	0	12,266	1,551	189,654
2018(H30)年度	639,651	0	0	0	34,834	2,598	602,219
2019(R1)年度	647,533	0	0	0	30,342	5,154	612,037

整備事業の場合の総事業費 0 千円 （建設経費 0 千円 ， 用地費 0 千円 ）

(様式2) 実行計画管理シート

事業名		149	総合文化施設整備事業	部・課	観光にぎわい部 都市整備部	文化生涯学習課 施設整備室
総合計画との関係	基本目標等		一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち			
	施策目標等		17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち			
	取り組みの方向		17-③ まちの価値を高め、集客と賑わいを創出する文化芸術拠点施設として総合文化施設を整備し、優れた文化芸術にふれる機会を提供するとともに、多くの市民が文化芸術活動を行うことのできる環境づくりを進めます。			
	(関連施策目標等)					
	(関連施策目標等)					
	4つの重点的に進める施策との関係					
と総合戦略の関係	基本目標		1 産業の活性化と人々の交流・賑わいの創出によりまちの魅力を高める			
	施策目標		5 人々が集い賑わい、魅力あふれる中心市街地のあるまち			
市長公約との関係			＜所信表明・市政運営方針での表現＞			
	所信表明	○	総合文化施設の建設については、昨今の建設費の高騰を踏まえ、その抑制に努めながら進める。			
	2016(H28)年度市政運営方針	○	総合文化施設の整備については、枚方市駅周辺の賑わいの創出とまちの魅力向上につながるよう整備を進める。			
	2017(H29)年度市政運営方針	○	本市の中心市街地である枚方市駅周辺の再整備については、連鎖的に推進し、賑わいの創出とまちの魅力向上につながるよう、(仮称)総合文化芸術センターの建設に向けて引き続き設計を進める。			
	2018(H30)年度市政運営方針	○	(仮称)総合文化芸術センターについては建設工事に着手し、平成32年度内の完成をめざします。 (仮称)総合文化芸術センターの整備を見据え、より効果的な事業展開につなげるため、文化芸術アドバイザーを選任するとともに、プロのオーケストラ団体と連携協定を締結します。			
事業概要 (目的・内容等)			優れた文化芸術の鑑賞機会を提供し、集客とにぎわいを創出する新たな文化芸術拠点をつくるため、大・小ホール、イベントホール、美術ギャラリーなどを備えた総合文化施設を整備する。 概算総事業費:143億円 (関連工事、備品等を含む)			

取り組み状況

これまでの取り組み状況		平成元年3月 枚方市新庁舎及び総合文化施設整備事業基金を設置し、整備の検討を開始 平成26年6月 総合文化施設整備計画を策定 平成27年2月 公募型プロポーザル方式により、総合文化施設設計事業者を選定 平成27年2月 「総合文化施設施設運営計画の策定にかかる基本的な考え方」を総務委員協議会に報告 平成27年3月 日建設大阪オフィス(最優秀設計事業者)と「(仮称)枚方市総合文化施設設計業務委託」の契約を締結 平成27年4月から設計を進める中で建設費高騰へ対応	
2016(H28)年度の取り組み	予定・目標	・基本設計 ・事業用地取得 ・施設運営計画の策定	
	実績(評価)	・整備費高騰に伴い、施設配置案を作成し、専門家に意見聴取を行うとともに、市民アンケートを実施した上で、施設配置案をもとに基本設計を進めた。 ・土地特別取得会計から、事業用地を買い戻した。 ・施設運営の基本方針(案)をまとめた。	
2017(H29)年度の取り組み	予定・目標	・実施設計	
	実績(評価)	・平成29年4月に基本設計及び施設運営の基本方針案についての説明会を開催した。 ・平成29年6月に「(仮称)枚方市総合文化芸術センターの施設運営について(基本方針)」を策定した。 ・平成30年3月に実施設計を完了した。	
2018(H30)年度の取り組み	予定・目標	・建設工事	
	実績(評価)	・枚方市総合文化芸術センター建設工事の建築工事、電気設備工事、機械設備工事、舞台機構設備工事を平成30年10月から、舞台音響設備工事と舞台照明設備工事を平成30年12月から着工した。	

2019(R1)年度の取り組み	予定・目標	・建設工事
	実績（評価）	・平成30年度からの枚方市総合文化芸術センター建設工事を引き続き実施するとともに、令和元年11月から植栽工事を着工した。
備考		

課題・今後の対応	建設工事の進捗管理を行う。 指定管理者の指定と開館準備業務委託を締結する。 財源の確保について、国庫補助金を着実に獲得する。		
達成状況（実行計画）	○：達成に向けて進行・継続中	達成状況（市長公約）	○：達成に向けて進行・継続中

関連指標

指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
文化施設ホール利用者数		○		159,008	144,136	151,882	178,423	34,608	-	168,222	人	
指標の説明				平成30年6月18日に発生した大阪北部地震によって客席の天井が損傷し、安全性に問題が生じたため、平成30年10月に枚方市市民会館条例を一部改正し、枚方市市民会館大ホールを廃止した。 (平成30年度については4月から6月までの実績)							当初目標値	達成年度
新たに整備する総合文化芸術センターの大・小ホール・イベントホールの年間利用者数※総合文化施設の整備までは、現市民会館大ホールの利用者数												
指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
ギャラリー施設利用者数				77,890	75,076	77,425	71,424	63,747	61,027	78,000	人	
指標の説明				現市民ギャラリーとふれあいホールは、老朽化等により利用ニーズに答えられているとは言えず、利用者数は伸び悩んでいる。							当初目標値	達成年度
新たに整備する総合文化芸術センターの美術ギャラリーの年間利用者数※総合文化施設の整備までは、現市民ギャラリーとふれあいホールの利用者数												
指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明											当初目標値	達成年度
指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明											当初目標値	達成年度

事業費(決算ベース)

年度	事業費総額	国庫支出	府支出金	起債	受益者負担	その他	一般財源
2016(H28)年度	7,357,612	349,600	0	2,000,000	0	2,612,520	2,395,492
2017(H29)年度	267,909	0	0	122,000	0	300	145,609
2018(H30)年度	1,087,459	392,000	0	0	0	400	695,059
2019(R1)年度	1,027,194	106,644	0	666,000	0	0	254,550

整備事業の場合の総事業費	20,467,000 千円	(建設経費	13,074,000 千円	，用地費	7,393,000 千円)
--------------	---------------	-------	---------------	------	--------------	---

(様式2) 実行計画管理シート

事業名		150	総合文化芸術センター別館整備事業	部・課	観光にぎわい部 文化生涯学習課
総合計画との関係	基本目標等		一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち		
	施策目標等		17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち		
	取り組みの方向		17-③ まちの価値を高め、集客と賑わいを創出する文化芸術拠点施設として総合文化施設を整備し、優れた文化芸術にふれる機会を提供するとともに、多くの市民が文化芸術活動を行うことのできる環境づくりを進めます。		
	(関連施策目標等)				
	(関連施策目標等)				
	4つの重点的に進める施策との関係				
総合戦略との関係	基本目標				
	施策目標				
市長公約との関係			＜所信表明・市政運営方針での表現＞		
	所信表明				
	2016(H28)年度市政運営方針				
	2017(H29)年度市政運営方針				
	2018(H30)年度市政運営方針				

事業概要 (目的・内容等)	市民の文化芸術活動を活性化するため、メセナひらかた会館を2021年度に開館予定の枚方市総合文化芸術センターの別館(アネックス)として位置付け、再整備する。
------------------	---

取り組み状況

これまでの取り組み状況		平成31年度当初新規事業	
2016(H28)年度の取り組み	予定・目標		
	実績(評価)		
2017(H29)年度の取り組み	予定・目標		
	実績(評価)		
2018(H30)年度の取り組み	予定・目標		
	実績(評価)		

2019(R1)年度の取り組み	予定・目標	①メセナひらかた会館アネックス化改修設計 ②施設の設置条例の改正		
	実績（評価）	・メセナひらかた会館の総合文化芸術センター別館化に伴う改修工事の設計委託に着手したが、不調に終わったため、保留していたメセナひらかた会館の保全計画設計委託分とまとめて実施することで、効率化を図ることを決定した。 ・12月議会でセンター条例の改正を行った。		
備考				
課題・今後の対応		設計委託を確実に実施する。 改修工事の進捗管理を行う。		
達成状況（実行計画）		○：達成に向けて進行・継続中	達成状況（市長公約）	

関連指標

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
事業の進捗度								30	60	%	
指標の説明			12月議会で、センター条例の改正を行った。メセナひらかた会館をセンター別館として改修するための設計委託を行ったが不調に終わったため、令和2年度に保全計画分と合わせて設計委託を行い、効率化を図ることとした。							当初目標値	達成年度
事業の進捗度(条例改正⇒30%、設計完了⇒60%、改修工事完了⇒100%)											
指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明										当初目標値	達成年度
指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明										当初目標値	達成年度
指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明										当初目標値	達成年度

事業費(決算ベース)

単位:千円

年度	事業費総額	国庫支出	府支出金	起債	受益者負担	その他	一般財源
2016(H28)年度	0						
2017(H29)年度	0						
2018(H30)年度	0						
2019(R1)年度	2,345						2,345

整備事業の場合の総事業費	0 千円	（建設経費		千円	，用地費		千円）
--------------	------	-------	--	----	------	--	-----

(様式2) 実行計画管理シート

事業名		151	総合文化芸術センター開館プレ事業		部・課	観光にぎわい部 文化生涯学習課
総合計画との関係	基本目標等		一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち			
	施策目標等		17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち			
	取り組みの方向		17-③ まちの価値を高め、集客と賑わいを創出する文化芸術拠点施設として総合文化施設を整備し、優れた文化芸術にふれる機会を提供するとともに、多くの市民が文化芸術活動を行うことのできる環境づくりを進めます。			
	(関連施策目標等)					
	(関連施策目標等)					
	4つの重点的に進める施策との関係					
との関係	基本目標					
	施策目標					
市長公約との関係			＜所信表明・市政運営方針での表現＞			
	所信表明					
	2016(H28)年度市政運営方針					
	2017(H29)年度市政運営方針					
	2018(H30)年度市政運営方針		○	・文化芸術振興計画に基づき、子どもや若い世代をはじめとされ誰もが文化芸術に出会い、ふれあい、自ら創造する機会の創出を推進するとともに、地域資源を生かした特色ある文化芸術の取り組みや枚方ならではの新たな取り組みを支援します。 ・(仮称)総合文化芸術センターの整備を見据え、より効果的な事業展開につなげるため、文化芸術アドバイザーを選任する ・総合文化芸術センターの整備を見据え、より効果的な事業展開につなげるため、プロのオーケストラ団体と連携協定を締結します。		

事業概要 (目的・内容等)	1.市民の文化芸術に対する関心を高めるため、総合文化芸術センターの開館プレ事業として、文化芸術アドバイザーによりセンター開館後につながる文化芸術事業を実施する。 2.枚方市総合文化芸術センターが開館するまでの間、市民会館大ホールでの公演に代わる優れた芸術公演の鑑賞機会を確保するため、連携協定を結んだオーケストラ団体との取り組みで、次の事業を実施する。 (1)連携協定を結んだオーケストラ団体の定期公演等に枚方市民優待料金を設ける。 (2)メセナひらかた会館多目的ホールや議場など、枚方市内の公共施設において鑑賞機会を作る。
------------------	---

取り組み状況

これまでの取り組み状況		平成31年度当初新規事業	
2016(H28)年度の取り組み	予定・目標		
	実績(評価)		
2017(H29)年度の取り組み	予定・目標		
	実績(評価)		
2018(H30)年度の取り組み	予定・目標		
	実績(評価)		

2019(R1)年度の取り組み	予定・目標	文化芸術アドバイザーによるプレ事業の実施 ＊コミュニケーション授業 ＊朗読ワークショップ・朗読劇 ＊能楽ワークショップ ＊吹奏楽クリニック 芸術公演の鑑賞機会の確保 ＊連携協定を結んだオーケストラ団体の定期公演等への市民優待 ＊市内公共施設での室内楽演奏会の実施
	実績（評価）	・文化芸術アドバイザーによるプレ事業を実施したが、一部、新型コロナウイルス感染拡大により中止とした。 (実施した事業)コミュニケーション授業、能楽ワークショップ、吹奏楽クリニック(楽器別合同クリニック) (中止した事業)…朗読ワークショップ・朗読劇、吹奏楽クリニック(各校合奏練習) ・芸術公演の鑑賞機会の確保を実施したが、一部、新型コロナウイルス感染拡大により中止とした。 ※連携協定を結んだオーケストラ団体の定期公演等への市民優待は、6回中5回実施 ※市内公共施設での室内楽演奏会の実施は、4回中3回実施
備考		

課題・今後の対応	文化芸術アドバイザーによるプレ事業については、教育委員会や学校などと連携しながら、新型コロナウイルス対策を講じた上で実施できるよう調整する。 芸術公演の鑑賞機会の確保については、新型コロナウイルス対策を講じた上で実施できるよう調整する。		
達成状況（実行計画）	○：達成に向けて進行・継続中		達成状況（市長公約） ○：達成に向けて進行・継続中

関連指標

指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
コミュニケーション授業の受講者数									573	500	人	
指標の説明				平田オリザ氏によるコミュニケーション授業を市立7小学校の6年生を対象に実施し573人が授業を受けた。教職員・一般市民対象の平田氏の講演会を開催し128人が参加した。							当初目標値	達成年度
コミュニケーション授業の受講者数												
指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
ワークショップ・クリニック受講者数									472	400	人	
指標の説明				辰巳満次郎氏の能楽ワークショップ…大人27人、小中学生36人 市川克明氏の吹奏楽クリニック…(楽器別合同クリニック)市立12中学校の吹奏楽部員409人。(学校別合奏練習は新型コロナ感染拡大で中止) わかぎゑふ氏の朗読ワークショップ・朗読劇…新型コロナ感染拡大で中止							当初目標値	達成年度
文化芸術アドバイザーのワークショップ・クリニック受講者数												
指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
公演鑑賞者数									976	1200	人	
指標の説明				連携協定を締結したオーケストラ団体公演への市民優待(6回)…①78人②111人③36人④78人⑤118人⑥新型コロナ感染拡大で中止 室内楽演奏会(4回)…①87人②230人③238人④新型コロナ感染拡大で中止							当初目標値	達成年度
公演を鑑賞した市民の数												
指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明											当初目標値	達成年度

事業費(決算ベース)

年度	事業費総額	国庫支出	府支出金	起債	受益者負担	その他	一般財源
2016(H28)年度	0						
2017(H29)年度	0						
2018(H30)年度	0						
2019(R1)年度	8,869	2,937				2,942	2,990

整備事業の場合の総事業費	0 千円	(建設経費		千円	，用地費		千円)
--------------	------	-------	--	----	------	--	------

(様式2) 実行計画管理シート

事業名		152	市民文化芸術活動活性化事業	部・課	観光にぎわい部 文化生涯学習課
総合計画との関係	基本目標等		一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち		
	施策目標等		17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち		
	取り組みの方向		17-④ まちの魅力を創出し、まちへの愛着につながるよう、市民による身近な文化芸術活動を促進するとともに、文化芸術に対する市民の関心・理解を深める取り組みを進めます。		
	(関連施策目標等)				
	(関連施策目標等)				
	4つの重点的に進める施策との関係				
と総合戦略の関係	基本目標		1 産業の活性化と人々の交流・賑わいの創出によりまちの魅力を高める		
	施策目標		5 人々が集い賑わい、魅力あふれる中心市街地のあるまち		
市長公約との関係			＜所信表明・市政運営方針での表現＞		
	所信表明				
	2016(H28)年度市政運営方針				
	2017(H29)年度市政運営方針	○	次世代を担う若手芸術家の育成をめざし、公共施設のロビー等をコンサートや個展等に無償で提供する育成事業の実施に向け取り組みます。		
	2018(H30)年度市政運営方針	○	文化芸術振興計画に基づき、子どもや若い世代をはじめとされ誰もが文化芸術に出会い、ふれあい、自ら創造する機会の創出を推進するとともに、地域資源を生かした特色ある文化芸術の取り組みや枚方ならではの新たな取り組みを支援します。		

事業概要 (目的・内容等)	<p>市民の文化芸術に係る企画事業や、若手芸術家の活動などを支援することで、市民の文化芸術の活動意欲を高め、文化芸術活動の活性化を図る。</p> <p>【拡充(平成31年度当初)】</p> <p>①文化芸術家支援事業(拡充)</p> <p>枚方ゆかりの若手芸術家(対象は概ね40歳以下)に、個展・公演等の発表機会を提供するなど、次世代を担う芸術家を支援することで、市民の文化芸術活動を促進する。ビジュアルアーツ(絵画・工芸)と、パフォーミングアーツ(音楽・身体表現)の2つの分野に大別し、シリーズ化(シリーズ名:アート・スプラウト)して、順次、実施する。</p> <p>＜拡充内容＞市内在住や枚方市ゆかりの芸術家を発掘し、支援するしくみとして、若手芸術家のアーティストバンクを設置し、公共施設だけではなく民間などの要請にも応じられるようにすることで、活躍の場を広げ、育成につなげる。あわせて、パフォーミングアーツを本格的に実施するとともに、支援内容の充実を図る。</p> <p>②市民企画イベント促進事業(変更)</p> <p>子どもの芸術や文化などの創作活動を促し、柔軟な発想や豊かな心を育むことを目的に、市内の18歳以下の子どもを対象に育成事業を行う団体を支援するため、事業経費に対する補助などを行う。</p> <p>＜変更内容＞子どもに関する文化芸術施策を充実させることに伴い、これまで実施してきた「子ども芸術育成支援制度」を廃止し、市民の文化芸術にかかる企画事業を支援する新たな制度として実施する。</p> <p>③文化芸術創造事業(新規)</p> <p>市民の文化芸術活動をさらに活性化させるため、一流のプロと市民がともに舞台を創り上げる文化芸術事業に取り組む。</p>				
------------------	--	--	--	--	--

取り組み状況

これまでの取り組み状況		平成31年度当初新規事業。従来の事業(若手芸術家支援事業と子どもの文化芸術の体験を促進する事業)を統合			
2016(H28)年度の取り組み	予定・目標				
	実績(評価)				
2017(H29)年度の取り組み	予定・目標				
	実績(評価)				
2018(H30)年度の取り組み	予定・目標				
	実績(評価)				

2019(R1)年度の取り組み	予定・目標	①若手アーティストバンクの設置、アーツプラウト(パフォーミングアーツ)の本格実施 ②市民が企画する、広く市民を対象とした文化芸術事業に対する補助制度の実施(2件) ③一流のプロと市民がともに舞台を創り上げる文化芸術事業の実施
	実績(評価)	①枚方市にゆかりのある若手アーティスト18団体13個人計70人が登録した。(令和2年4月1日現在)市が主体となって公共施設での発表機会を提供する「枚方市若手芸術家支援事業～アーツ・スプラウト シリーズ パフォーミングアーツ」をVol.2～5の4回実施した。5回目は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催中止となった。 ②「子ども芸術育成支援制度」の対象を拡充した、「枚方市市民企画イベント促進事業」制度のもとで、審査委員会を実施し、承認された3団体に対し支援を行った。 ③本市で盛んな合唱を取り入れた市の名物企画として育てるため、一流のプロと市民合唱団が共演する舞台を、演出・奥村啓吾氏、ソプラノ・並川寿美氏の協力で企画。会場は、市内大学に協力いただき、民間企業からの協賛を得ながら取り組んだが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催中止となった。
備考		

課題・今後の対応	枚方市にゆかりのある若手芸術家(概ね40歳以下)に公演等の発表機会を提供し、その活動を支援するために設置した「枚方市アーティストバンク」の登録アーティストに、公共施設での発表の機会を提供する「アーツ・スプラウト シリーズ パフォーミングアーツ」と、無観客の会場で実演を収録し、その動画をWEBで市民に配信する「アーツ・スプラウト WEB版」を市が主体となって実施するほか、WEB版として、民間事業者や市民団体からの要請に応じてアーティストの紹介を行うことで活躍の場を広げ、育成につなげる。 ・令和2年度(2020年度)は補助金に係る予算を60万円から90万円に増額し、より多くの事業を支援できるようにする。 また、「枚方市市民企画イベント促進事業」と「市民総合文化祭」との関係性など、総合文化芸術センターを利用する市民企画イベントについて検討を進める。 ・本市で盛んな合唱を取り入れた市の名物企画を育てるため、一流のプロと市民合唱団が共演する舞台を創造する。演出は枚方市出身の奥村啓吾氏の協力をいただく。会場使用は市内大学を借用し、民間企業からの協賛を得ながら取り組む。		
達成状況(実行計画)	○:達成に向けて進行・継続中	達成状況(市長公約)	○:達成に向けて進行・継続中

関連指標

指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
提供回数									4	5	回	
指標の説明				「枚方市若手芸術家支援事業～アート・スプラウト シリーズ パフォーミングアーツ」をVol.2～5の4回実施した。5回目は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催中止となった。							当初目標値	達成年度
1年間に開催する発表の場の提供回数												
指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
制度を利用した事業数									2	2	件	
指標の説明				「子ども芸術育成支援制度」の対象を拡充した、「枚方市市民企画イベント促進事業」制度のもとで、審査委員会を実施し、承認された3団体に対し支援を行った。							当初目標値	達成年度
制度を利用して実施した市民企画事業の数												
指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
文化芸術創造事業の実施									0	1	本	
指標の説明				本市で盛んな合唱を取り入れた市の名物企画として育てるため、一流のプロと市民合唱団が共演する舞台を民間企業からの協賛を得ながら取り組んだが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催中止した。							当初目標値	達成年度
芸術家と市民による文化芸術創造事業の実施本数												
指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明											当初目標値	達成年度

事業費(決算ベース) 単位:千円

年度	事業費総額	国庫支出	府支出金	起債	受益者負担	その他	一般財源
2016(H28)年度	0						
2017(H29)年度	0						
2018(H30)年度	0						
2019(R1)年度	2,131	592					1,539

整備事業の場合の総事業費	0千円	(建設経費	0千円	, 用地費	0千円)
--------------	-----	-------	-----	-------	------

(様式2) 実行計画管理シート

事業名		153	若手芸術家支援事業	部・課	観光にぎわい部 文化生涯学習課
総合計画との関係	基本目標等		一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち		
	施策目標等		17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち		
	取り組みの方向		17-③ まちの価値を高め、集客と賑わいを創出する文化芸術拠点施設として総合文化施設を整備し、優れた文化芸術にふれる機会を提供するとともに、多くの市民が文化芸術活動を行うことのできる環境づくりを進めます。		
	(関連施策目標等)				
	(関連施策目標等)				
	4つの重点的に進める施策との関係				
総合戦略との関係	基本目標		1 産業の活性化と人々の交流・賑わいの創出によりまちの魅力を高める		
	施策目標		5 人々が集い賑わい、魅力あふれる中心市街地のあるまち		
市長公約との関係			＜所信表明・市政運営方針での表現＞		
	所信表明	○	次世代を担う若手芸術家の育成をめざし、公共施設のロビー等をコンサートや個展等は無償で提供する育成事業の実施に向け取り組みます。		
	2016(H28)年度市政運営方針				
	2017(H29)年度市政運営方針				
	2018(H30)年度市政運営方針				
事業概要 (目的・内容等)			枚方ゆかりの若手芸術家(対象は概ね40歳以下)の活動を、個展・公演等の発表場所を提供するなど、次世代を担う芸術家を支援することで、市民の文化芸術活動を促進し、併せて平成32年度中の完成を予定している総合文化芸術センターの事業活動へつなげていく。 なお、同事業をシリーズ化(シリーズ名:アート・スプラウト)し、ビジュアルアーツ(絵画・工芸)と、パフォーマンスアーツ(音楽・身体表現)の2つの分野について、順次、実施していく。		

取り組み状況

これまでの取り組み状況		平成30年度当初新規事業。 H29に試行実施を行い、H30より利用基準等のルールを定めて本格実施を行った。生涯学習課の担当事業はビジュアルアーツとして、枚方市ゆかりの若手芸術家(美術関連)の個展を実施。			
2016(H28)年度の取り組み	予定・目標				
	実績(評価)				
2017(H29)年度の取り組み	予定・目標				
	実績(評価)				
2018(H30)年度の取り組み	予定・目標	・ビジュアルアーツ事業実施に伴う備品(展示パネル)の購入(庁舎別館1階スペース) ・利用基準などのルールの作成 ・若手芸術家のビジュアルアーツ事業の本格実施。			
	実績(評価)	・植村アート基金を活用し、新たに展示パネルを購入・設置した。 ・美術施設運営委員会に諮り、事業実施基準を作成した。 ・若手芸術家による油彩画展を開催した。			

2019(R1)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	昨年度に引き続き、若手芸術家への支援としてアクリル抽象画展を開催した。
備考	※令和元年度の事業は実行計画管理シートの152【市民文化芸術活性化事業】の一つとして組み入れている	

課題・今後の対応	把握できている事業実施基準を満たした作家が少ないため、新たな作家の掘り起しが必要である。出展可能作家を選出するために、美術施設、美術館関係者への積極的なアプローチを行う。		
達成状況（実行計画）	○:達成に向けて進行・継続中	達成状況（市長公約）	○:達成に向けて進行・継続中

関連指標

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
提供回数			-	-	-	1	1	1	1	回	
指標の説明			吉田絵美 キラピカ アクリル抽象画展を開催。入場者数は308人。							当初目標値	達成年度
1年間に開催する発表の場の提供回数											
指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明										当初目標値	達成年度
指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明										当初目標値	達成年度
指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明										当初目標値	達成年度
指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明										当初目標値	達成年度

事業費(決算ベース)

単位:千円

年度	事業費総額	国庫支出	府支出金	起債	受益者負担	その他	一般財源
2016(H28)年度	0	0	0	0	0	0	0
2017(H29)年度	0	0	0	0	0	0	0
2018(H30)年度	770	0	0	0	0	770	0
2019(R1)年度	0	0	0	0	0	0	0

整備事業の場合の総事業費

0 千円	(建設経費		千円	，用地費		千円)
------	-------	--	----	------	--	------

（様式2） 実行計画管理シート

事業名		154	子どもの文化芸術の体験を促進する事業		部・課	観光にぎわい部 文化生涯学習課
総合計画との関係	基本目標等		一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち			
	施策目標等		17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち			
	取り組みの方向		17-④ まちの魅力を創出し、まちへの愛着につながるよう、市民による身近な文化芸術活動を促進するとともに、文化芸術に対する市民の関心・理解を深める取り組みを進めます。			
	（関連施策目標等）					
	（関連施策目標等）					
	4つの重点的に進める施策との関係					
と総合関係	基本目標					
	施策目標					
市長公約との関係			＜所信表明・市政運営方針での表現＞			
	所信表明					
	2016(H28)年度市政運営方針					
	2017(H29)年度市政運営方針					
	2018(H30)年度市政運営方針					

事業概要 （目的・内容等）	子どもの文化芸術に関する創作活動を促し、柔軟な発想や豊かな心を育むことを目的に、市内の18歳以下の子どもを対象に育成事業を行う団体を支援するため、事業経費に対する補助などを行う。
------------------	---

取り組み状況

これまでの取り組み状況		毎年度2団体を上限として、審査委員会による支援事業を決定し、事業内容の充実のため補助金を交付する。また、採択事業の円滑な実施に向け、会場確保・広報掲載等を行う。
2016(H28)年度の取り組み	予定・目標	・育成事業を行う団体に対し、資金補助（上限30万円）、市の施設の確保、広報活動などの支援、補助制度のあり方について見直し
	実績（評価）	審査委員会で決定した2団体に支援を行った。 補助制度見直しに向けた検討を進めた。
2017(H29)年度の取り組み	予定・目標	・補助制度の見直しを行い、平成30年度の募集を行う。 ・H29年3月に策定した枚方市文化芸術振興計画における、子どもや若い世代の文化芸術活動の機会の充実を図る観点から、同計画の内容をふまえ補助金制度の見直しを行う。
	実績（評価）	1団体から申請があったものの、基準点に達しなかったため、支援は行わなかった。
2018(H30)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	審査委員会で決定した2団体に支援を行った。 これまで実施してきた子ども芸術育成支援制度の対象を拡充し、市民が企画する広く市民を対象とした文化芸術にかかる事業を支援する制度として、令和元年度より「枚方市市民企画イベント促進事業」を開始すべく、制度の整備を行った。

2019(R1)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	「子ども芸術育成支援制度」の対象を拡充した、「枚方市市民企画イベント促進事業」制度のもとで、審査委員会を実施し、承認された3団体に対し支援を行った。
備考		平成30年度までは、子どもの文化芸術に関する創作活動を促し、柔軟な発想や豊かな心を育むことを目的に、市内の18歳以下の子どもを対象に育成事業を行う団体を支援するため、事業経費に対する補助を行ってきたが、令和元年度から対象範囲を広げ、市民の文化芸術にかかる企画事業を支援することとした。 ※そのため、令和元年度の事業は実行計画管理シートの152【市民文化芸術活性化事業】の1つとして組み入れています。
課題・今後の対応		令和2年度（2020年度）は補助金に係る予算を60万円から90万円に増額し、より多くの事業を支援できるようにする。 また、「枚方市市民企画イベント促進事業」と「市民総合文化祭」との関係性など、総合文化芸術センターを利用する市民企画イベントについて検討を進める。
達成状況（実行計画）		○:達成に向けて進行・継続中
		達成状況（市長公約）

関連指標

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
事業申請件数			1	1	4	1	3	3	5	件	
指標の説明			申請件数は前年度と同じである。問い合わせは申請者と別に何件か寄せられていたので、申請に至らなかった理由について検討する必要がある。							当初目標値	達成年度
事業申請件数											

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明										当初目標値	達成年度

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明										当初目標値	達成年度

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明										当初目標値	達成年度

事業費(決算ベース)

単位:千円

年度	事業費総額	国庫支出	府支出金	起債	受益者負担	その他	一般財源
2016(H28)年度	344	0	0	0	0	0	344
2017(H29)年度	0	0	0	0	0	0	0
2018(H30)年度	238	0	0	0	0	0	238
2019(R1)年度	364						364

整備事業の場合の総事業費 0 千円 （建設経費 0 千円 ，用地費 0 千円 ）

(様式2) 実行計画管理シート

事業名		155	優れた文化芸術体験事業	部・課	観光にぎわい部 文化生涯学習課
総合計画との関係	基本目標等		一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち		
	施策目標等		17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち		
	取り組みの方向		17-④ まちの魅力を創出し、まちへの愛着につながるよう、市民による身近な文化芸術活動を促進するとともに、文化芸術に対する市民の関心・理解を深める取り組みを進めます。		
	(関連施策目標等)		16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち		
	(関連施策目標等)				
	4つの重点的に進める施策との関係				
と総合戦略の関係	基本目標				
	施策目標				
市長公約との関係			＜所信表明・市政運営方針での表現＞		
	所信表明				
	2016(H28)年度市政運営方針				
	2017(H29)年度市政運営方針	○	文化芸術振興計画に基づき、学校などの身近な場所で文化芸術のすばらしさや楽しさを体感できるアウトリーチ事業に取り組むなど、文化芸術振興施策を推進します。		
	2018(H30)年度市政運営方針	○	文化芸術振興計画に基づき、子どもや若い世代をはじめとしただれもが文化芸術に出会い、ふれあい、自ら創造する機会の創出を推進する ・総合文化芸術センターの整備を見据え、より効果的な事業展開につなげるため、プロのオーケストラ団体と連携協定を締結します。		

事業概要 (目的・内容等)	子どもたちの優れた文化芸術に触れる機会の充実を図り、子どもたちの豊かな感性や創造性、人間性を育むことを目的として、3年間で学校45校を巡回するアウトリーチを実施する。(プロの芸術家を学校などに派遣し、ミニ・コンサートなどを行う館外活動)〔こども夢基金事業〕 【拡充(平成31年度当初)】 ①アウトリーチ事業(拡充) 多くの子どもたちに本物の文化芸術に触れる機会を作るため、これまで3年間の期限で実施してきた小学校へのアウトリーチを継続的に実施する。また、福祉施設、病院へのアウトリーチも実施する。 ②オーケストラ鑑賞事業(新規) 子どもたちの豊かな感性や創造性、人間性を育むため、中学生を対象に連携協定を締結したオーケストラ団体による鑑賞機会を提供する。				
------------------	--	--	--	--	--

取り組み状況

これまでの取り組み状況					
2016(H28)年度の取り組み	予定・目標				
	実績(評価)				
2017(H29)年度の取り組み	予定・目標				
	実績(評価)				
2018(H30)年度の取り組み	予定・目標				
	実績(評価)				

2019(R1)年度の取り組み	予定・目標	<ul style="list-style-type: none"> ・若手アーティストによる小学校へのアウトリーチを実施 ・市内大学施設でフルオーケストラ公演の鑑賞会を実施(1回)
	実績(評価)	<ul style="list-style-type: none"> ・「枚方市アーティストバンク」に登録する若手芸術家を、5・6年生を対象に市立15小学校及び福祉施設5施設でアウトリーチを実施。 ・市内大学施設でフルオーケストラ公演の鑑賞会を実施し、市立11中学校の1年生1923人が鑑賞した。会場までの移動補助として、バスを借り上げてのピストン輸送も行った。
備考		

課題・今後の対応	<p>一定の条件をクリアした実力のある若手芸術家を、市内の小学校28校に派遣し、文化芸術を身近に体験する機会をつくる。</p> <p>中学1年生を対象に、本市と連携協定を結んでいる大阪フィルハーモニー交響楽団のオーケストラ公演を鑑賞する。</p>		
達成状況（実行計画）	○:達成に向けて進行・継続中	達成状況（市長公約）	○:達成に向けて進行・継続中

関連指標

指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
実施箇所数										20	20	箇所
指標の説明				「枚方市アーティストバンク」に登録する若手芸術家を、5・6年生を対象に市立15小学校及び福祉施設5施設でアウトリーチを実施。							当初目標値	達成年度
アウトリーチを実施した学校等の数												
指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
オーケストラ鑑賞会の実施回数										1	1	回
指標の説明				市立中学校の1年生を対象としたオーケストラ鑑賞会を開催し、11校が参加した。（課題・今後の対応）教育委員会と連携し、総合文化芸術センター開館後は全中学校の1年生を対象とするため、各校が参加しやすいよう実施時期や公演時間の調整、公演内容の精査が必要である。また、新型コロナの感染防止対策が必要である。							当初目標値	達成年度
オーケストラ鑑賞会を実施した回数												
指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明											当初目標値	達成年度
指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明											当初目標値	達成年度

事業費(決算ベース)

年度	事業費総額	国庫支出	府支出金	起債	受益者負担	その他	一般財源
2016(H28)年度	0						
2017(H29)年度	0						
2018(H30)年度	0						
2019(R1)年度	6,164	2,382				3,782	

整備事業の場合の総事業費	0 千円	(建設経費		千円	，用地費		千円)
--------------	------	-------	--	----	------	--	------